



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄証) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.7.5 No. 3246

7.1 団結地引綱 組合員260名が結集 家族が結集



団結のきずなを 強く！

第三回団結地引綱大会は、七月一日好天の中、一松海岸「海の家・あいの」において、組合員・家族二六〇名が参加し、動労千葉ならではの団結力を示すように（あいに潮の流れの関係で地引綱はできませんでしたが、日頃の闘い同様万全の手配をしていたサークル役員と勝浦支部のみなさんの協力によって）海の幸に舌づつみをうちつつ、自らの力で切り拓いてきた闘いの成果を語りあい、和気あいあいの中にもピーンと気の入ったものがあり（泡もあつたようだが！）相互に親睦を深めた。

恒例となった宝さがし、夏の到来を感じさせるスイカ割りなど趣向をこらしたアトラクションに、子供たちの歓声がかげめぐり、組合員・家族の応援する声、うちよせる波の音さえかき消すようなビッグウェーブをかたちづくる。

「四、一」JR体制にくさびを打ち込む清算事業闘争の永続化と高揚、三、一八ストの正当性への確信、組織破壊―土岐千葉転区長による不当労働行為糾弾の闘いなど、連日わたる闘争を担い抜いてきた組合員と、それを支えてきた家族の自信に満ちあふれた顔々々：JR当局―JR総連による「官製サークル」との決定的ちがいは、その「表情」にはつきりと表れている。

団結力こそ動労千葉の宝！
団結のきずな、より昂く、明日からの闘いへの勝利を予感させる一日であった。

小僧流見参！
秘剣スイカ割りの太刀！



「ポーズ焼きそばウメーだろ!?」
「大きくなれよ！」
何とつか絵になる風景でした！



砂の中から捜し出せ！

チチンパイパイ！